

A man with dark hair and a beard, wearing a dark suit, light-colored shirt, and patterned tie, is shown from the chest up. He is looking slightly to the right and has his hands raised in a gesturing motion. The background is a blurred green, suggesting an outdoor setting. Overlaid on the image are several text elements: a dark grey box with white Japanese text, a smaller dark grey box with white Japanese text, the title 'INSTITUTIONAL ALARMISM' in large white letters, the subtitle 'THE BBC'S DISASTROUS CLIMATE COMPLAINTS' in smaller white letters, the author's name 'Paul Homewood' in white, and the 'NETZERO WATCH' logo in the bottom right corner.

気候変動に関する問題報道

ポール・ホームウッド

INSTITUTIONAL ALARMISM

THE BBC'S DISASTROUS CLIMATE COMPLAINTS

Paul Homewood

NETZERO
WATCH

Institutional Alarmism: The BBC's Disastrous Climate Complaints

Paul Homewood

© Copyright 2022, Net Zero Watch

気候変動に関する問題報道

ポール・ホームウッド

監訳 キヤノングローバル戦略研究所研究主幹 杉山大志 訳 木村史子

本稿は、Institutional Alarmism: The BBC's Disastrous Climate Complaints
Paul Homewood、<https://www.netzerowatch.com/content/uploads/2022/06/Homewood-BBC-ClimateComplaints.pdf> を、Net Zero Watch の許可を得て翻訳したものである。

目次

著者について.....	3
はじめに.....	3
ジャスティン・ローラット - BBC 気候変動担当編集者	4
過去に受理された申し立て	5
BBC はどのように申し立てを無視するか	7
あからさまなプロパガンダ	9
結論.....	10
参考文献.....	11

著者について

ポール・ホームウッドは、産業界で会計士としてのキャリアを積んだ。2011 年より気候・エネルギー問題についての執筆を開始。

はじめに

BBC は、その報道の多くの分野でしばしば偏りがあると非難されてきた。その中でも特に際立っているのが、気候変動に関する報道である。2006 年、BBC は非公開のセミナーを開催し、それが地球温暖化に関する BBC の報道の方向性を形作った。このセミナーの詳細は、何年もの間、何万ポンドもの費用を投じたにも関わらず、非公開とされてきた。結局、28gate として知られるスキャンダルの中で、出席者にはグリーンピースのメンバーなどグ

リーン活動家や、気候破局説の強力な支持者が含まれていたことが明らかになった。一方で、懐疑派の出席はなかった。

それ以来、気候変動やエネルギー政策に関する BBC の報道は、グリーンピースや WWF のような極端なグリーン活動家団体を過度に目立たせる一方で、コンセンサスに同意しない人物を排除・疎外するのが常態となった。

BBC の環境レポーターたちは、彼ら自身が推進派であるに過ぎず、公平とはいえない。BBC の首席ジャーナリストであるロジャー・ハラビンは最近、「説教台にふさわしい凶事の予言者」だと非難されている¹。実際、環境担当のスタッフ全員がまるで不正をしていて、公平性に関する会社の規則が自分たちに適用されるとはもはや思っていないように見えることもある。

この明らかに偏った報道は、当然ながら環境問題に関して多くの異議申し立てを招き、そのうちのいくつかは受理されている。そのうちの多くは事実誤認に関するもので、その他は偏見や代替的見解の欠如に関するものである。

多くの記事や番組が正規の申し立てなしに流されているが、それらは同様に偏っていて、誤解を招くものである。本稿では、その一部を紹介する。

本稿は、政府が近々実施する BBC の中間レビューに寄稿されたものである。

ジャスティン・ローラット - BBC 気候変動担当編集者

2022 年 4 月、BBC は、気候担当編集者ジャスティン・ローラットに対する 2 件の申し立てを受け入れた。どちらも 2021 年 11 月の Panorama 「Wild Weather

- Our World Under Threat」と題する、ローラット自身が脚本と司会を担当した番組に関するものだった²。この番組は、以下の彼自身の冒頭のコメントで明らかにしているように、気候変動が世界の天候をより悪くしていると視聴者を説得することを意図したものだ

世界はどんどん温暖化し、天候はますます予測不可能で危険になっている。世界中で災害による死亡者数が増えており、さらに深刻な事態が起こることが予測されているのだ。

死者数が増加しているという彼の主張は、実は真実とは正反対である。気象災害による死

者は過去 50 年間に著しく減少し、現在も減少し続けている。このため、BBC に申し立てをすると、Panorama では累積死者数を言っているのであって、毎年増加するのは明らかだ、との言い訳でごまかされた。その後、この申し立ては BBC のエグゼクティブ・コンプレインツ・ユニット (ECU) へと引き継がれ、ECU はローラットが誤解を与えたと判断した。けれどもその判定文は思わず笑ってしまうようなものだ。異常気象による死者数が増加しているという表現は、「異常気象による死者の割合が増加しているという印象を与える危険性がある」と述べている。一体なぜこうになってしまうのか。

その後、番組は 2021 年に起こったいくつかの悪天候をグラフィカルに描写し説明した。その現象について前例がないとか、より一般的になりつつあるとか、ましてや地球温暖化の結果であると述べた根拠は全く示されていない。その一例がマダガスカルで最近起きた干ばつで、ローラットはこれを「世界初の気候変動による飢饉」と呼んだ。

この番組が放送された直後、ある科学的な調査が行われた。そして飢饉は気候変動とは無関係であることが示唆された。マダガスカルは過去にもっとひどい干ばつに見舞われたことが明らかになった。ECU は、この同じ番組において別の部分に対する申し立ても受理した。

この 2 つの申し立ては、この報道がいかに粗雑なものであるかを浮き彫りにした。ほんの少し調べれば、どちらの主張も偽物であることがすぐにわかるはずだ。ローラットは、自分の主張がインチキだと知っていたのだろうか。それとも、確認するのが面倒だったのだろうか。

しかも、彼に対するこれらの申し立ては、今に始まったことではなかった。2021 年には、風力発電に対する宣伝記事で、『英国では現在、洋上風力発電産業は「実質的に補助金なし』と虚偽の主張をしたことで非難された。当時、補助金は年間 35 億ポンドに達していたのである³。

過去に受理された申し立て

しかし、このようなずさんで一方的な報道は、BBC では今に始まったことではない。2006 年、BBC は非公開セミナーを開催し、それが地球温暖化に関する BBC の報道を形成した。BBC は出席者の名前を伏せるために何年も抵抗したが、結局、グリーンピースやストップ・クライメート・カオスなどの過激な環境保護団体が多数含まれていることが明らかになった。

実際、気候変動やエネルギー政策に関する BBC の報道で、グリーンピースや WWF の広報担当者のコメントがないものはないほどである。

長年にわたり、BBC の気候変動問題についての報道に対し、多くの申し立てが受理されてきた。しかし、ECU から裁定を得るために粘り強い姿勢が必要であることを考えれば、当然のことかもしれないが、他の多くの申し立ては単に無視されたり、あるいは公式な申し立てにすらならなかっただけである。

その一部を紹介しよう。

申し立て事例

- 2020 年 10 月：全米農業者組合が BBC のドキュメンタリー番組「 Meat: A Threat to our Planet 」というドキュメンタリー番組について申し立てを行った。英国での食肉生産について根拠のない主張をしていた。OFCOM（英国情報通信庁）は彼らの申し立てを受理した⁴。
- 2020 年 6 月：BBC Radio 4 -Today で、2020 年は英国で過去最も暑い 5 月になったと述べた。しかし実際は 15 番目の暖かさであった⁵。
- 2019 年 2 月：ロジャー・ハラビンはあるシンクタンクの報告書を取り上げ、「2005 年以来、世界中の洪水の数は 15 倍、異常気象事象は 20 倍、山火事の数も 7 倍になった」という明らかに不合理な主張をした。このシンクタンクはその後、自分たちの主張が事実とは異なることを認めたが、ハラビンはこの主張をただそのまま伝える前に、疑問を抱くべきだったのである⁸。
- 2018 年 12 月： BBC の番組「Weather World」のあるエピソードで、「すでに英国の電力の約 30%が風力エネルギーによって生み出されている」と主張した。実際の数値は 15%であった⁸。この番組は事実上陸上風力発電所の単なる広告塔に過ぎない。
- 2018 年 10 月：BBC News は、アフリカのペンギンの個体数が「海面の上昇」によって急速に減少していると報じた。ECU は、この主張もフェイクであり、個体数減少の本当の原因は乱獲であることをやむなく認めた。
- 2018 年 6 月：ジョン・ハンフリーズが気候変動委員会の委員長であるデベン卿にインタビューし、彼の風力発電に関する不正確な主張を許した。特に、デベンは、「地域が陸上風力発電所を持ちたいと思っているところでも、それを持つことはできない」と述べた。だが実際には、そのような禁止事項はなく、政府は陸上風力タービンを承認する決定を地方議会に委譲している。その結果、BBC のエグゼクティブ・コンプレインツ・ユニット（ECU）は、視聴者に大きな誤解を与えないために、この点について異議を唱

えるべきだったと判断した⁸。

- 2018年5月：環境アナリストのロジャー・ハラビンは、政府が「新しい陸上風力発電所を禁止した」と書いた。そのような禁止はなく、補助金の撤廃のみであった。BBCのエグゼクティブ・コンプレインツ・ユニット（ECU）は、この記事が重大な誤解を招くものであり、編集基準に重大な過失があったことを認めた⁸。
- 2018年1月：BBC News at Ten は、2017年は「記録上最も暑い年」と主張した。ここでも、これは明らかに事実と異なっていた⁶。また2017年、BBC Two Russia With Simon Reeve の放送で、ロシア北部のトナカイの個体数が「気候変動のために激減している」と主張した。しかし実際には、2016年の研究により、ユーラシアトナカイの19の個体群のうち17が、数を増やしているか、数が安定していることが証明されていた⁷。
- 2017年12月：BBCの気象学者クリス・フォークスは、「温暖化した地球ではよりハリケーンの数が増加し、ハリケーンが最も強い影響を与えるカテゴリーになるリスクも増加している」と断言した。
その後BBCが認めざるを得なかったように、過去のデータはそのような増加を示してはいない⁸。
- 2017年3月：The World at One は、マイアミの海面が全世界平均の10倍の速度で上昇しているという、明らかにばかげた主張をした。BBCはのちに、マイアミの海面が「世界平均からほとんど乖離していない」ことを認めざるを得なかった。（その変化は、海面上昇ではなく、土地の沈下によるものだった）⁸。

BBCはどのように申し立てを無視するか

上述した申し立てはすべて採用されたが、BBCは申し立てをうまくはぐらかすことを得意としている。

第一段階の回答では、通常、申し立ては無視される。大抵の人は、それ以上のことをする用意がないので、通常、その場でその問題は終わりとなる。これがうまくいかない場合、BBCは'科学者の見解'という抗弁を用いる。自分たちの見解を放送しているわけではなく、単に他の人が言っていることを伝えているに過ぎないというのである。したがって、いかなる誤りに対しても責任を負うことはできない。

しかし、最も一般的な防衛策は、単に、その申し立てが忘れ去られることを期待して、無視することである。

最も悪質な例は、BBC が 2019 年 5 月に放送した、サー・デイビッド・アッテンボローのドキュメンタリー「Climate Change - The Facts」である。

この番組では、特に「嵐、洪水、熱波、海面上昇のすべてが、気候変動の結果として急速に悪化している」という非常に疑わしい主張がいくつかなされていた。国連の気候変動に関する政府間パネルが報告しているように、このような主張には何の根拠もない。このような趣旨の申し立ては、一部の科学者が公式見解に反対しているという理由で、あっさりとそのま流されたのである⁹。

このように無視されたり、はぐらかされた申し立てについて、以下に記載する。

無視された申し立ての事例

- 2022 年 4 月：BBC Weather Climate Check が、南極が世界平均の最大 3 倍で温暖化していると報道。南極の大部分はここ数十年で寒冷化していることが研究で明らかになっているため、これもフェイクニュースである¹⁰。
- 2021 年 12 月：BBC News は、2021 年の大西洋ハリケーンシーズンは 3 番目に活発だったと報じた。実際には、1851 年以降、2021 年に大西洋で記録された 7 つのハリケーンと同数またはそれ以上の数のハリケーンが発生した年は、他に 50 もある。
- 2021 年 9 月：BBC New は、「世界を襲う気象関連の災害の数は、過去 50 年間で 5 倍に増加した」と主張した。しかし、このデータを発表した組織が認めているように、この増加は気候変動によるものではなく、記録管理が改善されたことによるものである¹²。
- 2021 年 9 月：BBC Weather Climate Check は、「気候科学者は、地球温暖化がハリケーンの勢力を強くしていると確信している」と主張した。（「科学者たちは述べている」が出ていないことに注意）。実際のデータはこれが真実でないことを示しており、ほとんどの信頼できるハリケーンの専門家もこのことを確認している。よくあることだが、BBC は様々な代替意見を提示しようとは一切していない¹³。
- 2021 年 5 月：BBC Weather Climate Check は、地球温暖化によって米国で竜巻被害が拡大している可能性があるとして主張した。公式データはその逆で、1970 年代に比べて竜巻の発生が大幅に減少していることを示している¹⁴。
- 2021 年 5 月：BBC News は、ビクトリアの滝が干上がったことを報じ、悪化の原因は「地球温暖化 (global heating)」だとした。（BBC はもはや「温暖化 (warming)」とすら言っていない！）。トリック写真では干上がったことになっているが、実際には干上がっていない。この時期、水位はいつも下がっているのだ。その年の干ばつは前代未聞でもなければ、異常でもない¹⁵。

- 2021年3月：BBC News は、2014年のカリフォルニアの干ばつを取り上げ、地球温暖化が要因であることをほのめかした。ここでも、実際のデータは、干ばつは珍しいことではなく、もっと深刻な「巨大干ばつ」が過去に定期的に起きていたことを示している¹⁶。
- 2021年2月：BBC News は、2020年に米国で発生した山火事とハリケーンの数が記録的だったと主張した。これは全くの誤りであったが、BBC は訂正記事を出すことを拒否した¹⁷。
- 2021年2月：BBC News は、米国で「気候災害」がより頻繁に発生し、より多くの費用がかかるようになったと主張した。それらの主張は、富の増加によって被保険の損失が必然的に増加したことを考慮に入れていない¹⁸。
- 2019年12月：BBC One は、気候変動のためにホッキョクグマが飢えているとする偽りのかつ感情的に訴えたアッテンボローのもうひとつのドキュメンタリー「Seven Worlds: One Planet」を放送した。実際には、撮影された地域のホッキョクグマは繁栄している¹⁹。
- 2019年9月：BBC ニュースは、メコンデルタが海面上昇で水没した結果、「気候変動がベトナムの家庭生活を破壊している」と報じた。実際のところ現地の科学専門家は、主な問題は水の採取に伴う地盤沈下であると明言している。加えて、メコン川のせき止めや上流の砂採取によって水流が強くなり、デルタの地盤浸食が起こっているとしている。BBC ニュースの報道は、これらの要因について触れていない²⁰。

あからさまなプロパガンダ

BBC の気候変動に関する番組や報道は、明らかにプロパガンダに過ぎないケースが多々ある。

その一例が、カンブリア州の炭鉱計画について、同社の環境アナリストであるロジャー・ハラビンが2021年に連載した記事である。1月6日から2月4日にかけて、グリーンピース、気候変動委員会、オックスファム、CPRE、労働党、自由民主党、緑の党の政治家の発言を大量に引用し、炭鉱に反対する非常に偏った5つの記事を書いた。その中にはフィジー大使のコメントもあった²¹。

どの記事にも、鉱山がもたらす利益については、経済的なものであれ、環境的なものであれ、一切触れられておらず、また、鉱山の支持者、地元の政治家、労働組合員からのコメントも一切ないに等しかった。

BBC は、次のような理由で、偏向報道に関する申し立てを却下した。「正当な公平さとは、すべての報道がすべての見解と事実を反映しなければならないということではない。」

また、昨年別の記事で、ハラビンは、1990年から2015年の間に、最も裕福な5%の

人々、いわゆる「環境を汚すエリート(polluter elite)」が二酸化炭素排出量の増加の37%に貢献したと主張している。この発言は、その期間の世界的な排出量増加のすべてがアジア、アフリカ、ラテンアメリカからもたらされ、アメリカとヨーロッパでは実際に排出量が減少しているという事実を無視している²²。

この記事は、BBCのプロパガンダがどのように機能しているかを浮き彫りにしている。この記事は、ケンブリッジ持続可能性委員会(Cambridge Sustainability Commission on Scaling Behaviour Change)の報告書に基づいており、ハラビンはこれを公的機関であるかのように見せているが、実際にはこの組織は自薦による主流ではない政治運動団体なのである。

もう一つの例は、2021年夏の東京オリンピックを控えていた時期のことだ。BBCは、地球温暖化の影響により東京オリンピックのパフォーマンスが「損なわれる」可能性が高いと主張する愚かなレポートを大々的に報道した。これは、最近の多くのオリンピックが、ロサンゼルス、アトランタ、アテネといったより暑い気候の地で開催されてきたという事実と反するものであった²³。

昨年も、気候変動がバングラデシュの農業をいかにダメにしているかを感傷的に表現した報道があった。The BBC's Asian Networkのカサ・アロムが、先祖代々の故郷に帰って紹介したものだ。しかし、そこにおいてもこの国の農業生産高が過去50年間で4倍になったという事実にはまったく触れられていない²⁴。同様に、BBCのSpringwatchもその偏向報道を隠そうとせず、地球を救うために「私たちはやり方を変えなければならない」と2年前にツイートしている²⁵。

どれも驚くようなことではない。2020年1月、BBCは、気候変動に関する特別番組と報道を1年間にわたって行う計画を正式に発表した。この大々的な宣伝は今日まで続いている²⁶。

他にも多くの事例があることは間違いない。そして、たとえ申し立てが成功しても、それを実際に目にする人はごくわずかである。その一方で、オリジナルのフェイクニュースは何百万人もが目にするようになるのだ。」

結論

本稿で紹介した膨大な証拠は、BBCの気候問題の報道において偏見が蔓延していることを示唆している。

指摘された事実誤認はすべて、ちょっとした基本的な調査によって簡単に回避できたはずだ。調査が行われ、その結果がBBCの意図にそぐわない場合は無視されるというのであろうか？それとも、BBCの報道は、チェックもなく、ただ作り上げられ、とにかく印刷されるのだろうか？いずれにせよ、このことはジャーナリズムとして最低の醜態をさらして

いるのである。

このフェイクレポートを編集しているのは誰なのか？なぜ、正確な報道にこだわらないのだろうか？このような事態を放置している高給取りの経営幹部はどこにいるのだろうか？

たとえ申し立てが受理されたとしても、実際にそのことを知る人、あるいは訂正の記録を読む人はごくわずかである。それに対して、フェイクの方は何百万人もの人が目にし、それが真実だと信じ続けているのだ。新聞が訂正記事を掲載しなければならないのと同様に、BBC はすべての訂正記事を、元の記事と同じように目立つように掲載・放送すべきである。特に、BBC ニュースの速報は、各番組の最後にすべての訂正を放送すべきである。

気候変動、ネット・ゼロ、そしてそれを実現するために必要な社会の全面的な変革というテーマは、この国の将来にとって極めて重要である。国民は、BBC が提供する歪んだバージョンの報道だけでなく、すべての事実を知る資格があるのだ。

参考文献

1. Daily Telegraph: <https://www.telegraph.co.uk/news/2021/11/02/bbcs-prophet-doom-belongs-pulpit/>.
2. Panorama: <https://www.bbc.co.uk/iplayer/episode/m00117h1/panorama-wild-weather-our-world-under-threat>.
3. <https://notalotofpeopleknowthat.wordpress.com/2021/12/13/bbc-uphold-my-complaint-about-wind-farm-subsidies/>.
4. NFU: <https://www.farmersguide.co.uk/bbc-upholds-complaint-over-biased-documentary/>.
5. BBC Today: <https://notalotofpeopleknowthat.wordpress.com/2020/06/05/bbcs-fake-claim-about-hottest-may/>.
6. NZW: <https://www.netzerowatch.com/bbc-regrets-climate-error-and-failure-to-meet-usual-standards-of-reporting-and-then-does-it-again/>.
7. Russia with Simon Reeve: <https://www.bbc.co.uk/programmes/b096sc3z>.
8. Not a lot of people know that:
<https://notalotofpeopleknowthat.wordpress.com/2019/03/15/bbcs-climate-lies-becoming-a-habit/>.
9. GWPF: <https://notalotofpeopleknowthat.wordpress.com/2019/04/26/bbc-accused-of-serious-errors-and-misleading-statements-in-david-attenboroughs-climate-show/>.
10. BBC Climate Check: <https://www.bbc.co.uk/weather/features/61259046>.
11. BBC News: <https://www.bbc.co.uk/news/science-environment-59489559>.

12. BBC News: <https://www.bbc.co.uk/news/science-environment-58396975>.
13. BBC Climate Check: <https://www.bbc.co.uk/weather/features/58503854>.
14. BBC Climate Check: <https://www.bbc.co.uk/weather/features/56724785>.
15. BBC News: <https://www.bbc.co.uk/news/science-environment-56902340>.
16. BBC News: <https://www.bbc.co.uk/news/science-environment-56225862>.
17. BBC News: <https://www.bbc.co.uk/news/av/world-us-canada-56107358>.
18. BBC News: <https://www.bbc.co.uk/news/av/world-us-canada-56107358>.
19. GWPF: <https://notalotofpeopleknowthat.wordpress.com/2019/12/02/david-attenborough-accused-of-misleading-public-about-polar-bears-again/>.
20. <https://www.bbc.co.uk/news/av/world-asia-49854753>.
21. TCW: <https://www.conservativewoman.co.uk/the-climate-scaremongers-a-weekly-round-up-6/>.
22. BBC News: <https://www.bbc.co.uk/news/science-environment-56723560>.
23. BBC Sport: <https://www.bbc.co.uk/sport/olympics/57255563>.
24. BBC News: <https://www.bbc.co.uk/news/world-asia-56485667>.
25. BBC Springwatch:
<https://twitter.com/BBCSpringwatch/status/1223362042423336961>.
26. BBC News: <https://www.bbc.co.uk/news/world-51104776>.